

【1】 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

教員養成の目標

本学は、専門分野の知識・技術を修得するとともに、豊かな人間性と実行力を備え、自立した人間として職業又は实际生活に必要な能力を有する人材を育成し、もって社会の発展に寄与することを目的とし、以下の事項を教育目標として定めている。本学における教員養成は、この教育目標に沿って行われている。

- (1) 幼児教育・保育に関しての幅広い専門知識と実践力を備え、保育者としての責任感及び自覚を持った人材を養成すること。
- (2) 創造的な表現力、コミュニケーション能力、社会性を備えた豊かな人間性を涵養すること。
- (3) 幼児教育・保育を担う人材の育成及び教育研究については、その成果を提供することによる地域社会への貢献を視野に入れ取り組むこと。

目標を達成するための計画

- (1) 実習指導チームを中心とする全学的な教職指導体制

実習指導チーム(1年生担当5名・2年生担当6名)による週1回の実習指導授業を軸にし、全専任教員による実習時の巡回指導、事後面談を行っている。

- (2) 「実習・進路サポート室」の運営

実習指導の支援については、「実習・進路サポート室」を設置し、幼稚園教諭・保育士資格を有し現場での実務経験のある職員も配置し、学生の実習上の支援を行っている。

このほか、実習先や就職先との連絡調整、実習先指導者からの指導・指摘事項の取り纏め、実習配属の調整、学生からの個別相談への対応などを行ない、より効果的な実習・進路の指導ができる体制をとっている。

- (3) 併設の洗足学園音楽大学との連携

同じキャンパス内に音楽大学を併設しており、施設・人的資源を共有することにより、本学ならではの特色ある表現教育を行い、創造的な表現力、コミュニケーション能力などの伸長に努めている。

- (4) 「FD 活動」による授業改善

保育者養成校である本学においては、全ての授業が教育実習・保育実習に繋がるとの共通認識を教員が持ち、「FD 委員会」「カリキュラムワーキング・グループ」などを中心に全教員が連携を図りながら、授業改善を行なうよう努めている。

- (5) ボランティア活動の推進

地域の保育関連施設と連携し、実習教育の枠外でも学生自身が実践活動を通して良き保育者を目指すことができる環境づくりに配慮を行っている。

幼稚園、保育園等での個々の学生による自主的なボランティアのほかに、ゼミやサークル等による人形劇や演奏などの出張公演を積極的に行えるようサポート体制を敷いている。